

県連情報

群馬県生活協同組合連合会

前橋市大手町 3-19-3

TEL 027 - 234 - 2376

5月号 (No84)

2016年5月11日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます

<http://gunma.kenren-coop.jp/>

Eメール: mail@gunma.kenren-coop.jp

熊本地震被災者支援へ、県内生協の取り組みが始まりました 医療生協から人的支援、多くの生協では募金活動を開始しました

4月14日(木)夜から始まった熊本地震では、関連死を含め60名以上が犠牲となり、9万人以上が避難生活を余儀なくされるなど、大きな被害を被っています。また熊本県生協連事務所も壁が崩れ落ち立ち入り禁止となり生協くまもと本部に事務所を移したり、熊本県内の生協でも建物や施設に被害が出ていて、一時的に営業できなかった店舗、被災地の宅配では受け取りができない組合員もあるなど、大きな影響を受けています。

こうした状況を支援していくため、県内生協の取り組みが始まっています。

県内生協の熊本地震支援活動状況について

2016年5月9日現在

利根保健生協 (利根中央病院)

4月18日(月)～24日(日) 医師1名、民医連からの要請にもとづき南阿蘇村で支援活動

→被災地民医連加盟医療機関の副院長が南阿蘇村在住、被災地での医療活動にあたっていることへの支援です。

4月21日(木)～24日(日) 看護職1名、事務系2名派遣

4月25日(月)～28日(木) 看護職2名、事務系1名派遣

4月27日(木)～30日(土) 医師1名派遣

5月7日(土)～10日(火) 医師1名派遣

病院特設窓口で募金呼びかけ、職員募金と合わせて742,090円集まりました。

群馬中央医療生協 各職場で募金の集約を開始しました。

4月25日(月) 事務職と看護職で3泊4日の支援に出発

5月1日の週に事務職とリハビリ職で3泊4日の支援を予定。

北毛保健生協 各職場及び事業所窓口での募金開始

4月末で1次集約を行い、162,898円の義援金を熊本支援へ送りました。

引き続き6月末までの募金を呼びかけ中

はるな生協 職員向けの他に、事業所の窓口で募金の呼びかけを開始

コープぐんま 4月15日(金) 緊急募金を開始しました。

5/8現在、全体で11,264,676円集まりました。

コープデリ 一口(100円・1,000円・100ポイント・1,000ポイント)、全ポイント(OCR注文書、eフレンズで受付)

店舗 レジおよび備え付けの募金箱で受付(17日から)

パルシステム群馬

4月18日(月)より緊急支援募金を受け付け開始しました。

一口(300円・1,000円・300ポイント・1,000ポイント)

生活クラブ生協

4月22日(金) ニュースを発行し、組合員へ救援金(カンパ)の協力を呼びかけました。一次べ切5月4回(5/16～20)まで 一口500円

5月9日(月)～ 6月5回(6/20～24)まで継続受付の案内を組合員へ配布します。

よつ葉生協

4月20日(水)より熊本県地震への緊急募金のお願いを配布します。

募金は、4/25より5/20までの週で受け付けます。

全労済県本部

5月11日(水)から7泊8日1クルの日程で被害調査活動支援として各2名ずつを派遣します。

組合員向けに全労済各ショップ窓口で募金箱を設置して「全労済平成28年熊本地震被災者支援義援金」を緊急実施し、役職員による緊急募金も実施しています。



利根保健生協 (利根中央病院)での募金活動の様子
※医療福祉生協連のニュースより



被害を受けた生協くまもとコープ春日店
※CO・OPnavi 3月号で紹介されたばかりでした。

平成27年度消費者行政懇談会を開催 平成28年度消費者施策について意見交換しました

3月23日(水)

群馬県生活文化スポーツ部消費生活課と消費者ネットワーク群馬（中嶋源治会長）の共催で、3月23日（水）、県庁昭利庁舎の会議室において平成27年度消費者行政懇談会が開催されました。平成28年度の「群馬県消費者計画」について県から報告を受け、意見交換を行いました。

懇談会には、消費生活問題審議会の各委員、消費者ネットワーク群馬の構成団体（群馬県消費者団体連絡会、群馬県くらしの会連絡協議会、群馬県生協連、消費者行政充実ぐんま会議）、群馬弁護士会、群馬司法書士会から24名が参加、群馬県からは消費生活課長・次長ほか企画指導係、消費者支援係、県民防犯係から9名が参加しました

消費生活課菅沼秀明課長と消費者ネットワーク群馬中嶋源治会長があいさつを述べたあと、「群馬県消費者基本計画」について説明を受け、質疑応答と意見交換を行いました。



菅沼消費生活課長



消費者団体からは、消費生活相談員の処遇改善、振り込め詐欺等根絶サポーター養成施策への要望、高齢者の特性を考慮した支援・広報活動、県内初、全国でも14番目となる適格消費者団体認定への支援などが要望されました。

県からは、リフォーム業者へ訪問販売について周知・指導、高齢者家族を対象に振り込め詐欺等根絶サポーターの育成などの施策を進めること、また市町郡消費生活センターについて空白地域がなくなっているのは画期的で維持していきたい、等の説明がありました。

2016年度行政・生協懇談会を開催しました 行政から5名、11生協から28名が参加し懇談しました。

4月21日(木)

2016年度行政・生協懇談会を4月21日（木）、前橋市内で開催しました。行政・生協懇談会は、群馬県の人事異動に合わせて群馬県生協連が主催し、非会員生協も招いて日頃ご指導をいただいている群馬県の関係部局の皆さんと生協役員との交流・懇談を行っているものです。



中嶋会長理事



星野消費生活課長

中嶋源治県連会長の挨拶に続き、4月より着任となった星野真弓群馬県生活文化スポーツ部消費生活課長からご挨拶があり、高齢者の詐欺被害を防止する取り組みを進めていること、消費者行政で生協との連携を強めていく



須藤環境政策課長



真下ぐんまブランド
推進課長



萩原食品安全
推進室長



戸塚ぐんま男女共同
参画センター長

いことなどをお話いただきました。

行政からは星野真弓消費生活課長のほか、須藤雅紀環境森林部環境政策課長、真下英明農政部ぐんまブランド推進課長、萩原美紀健康福祉部食品・生活衛生課

食品安全推進室長、戸塚洋子ぐんま男女共同参画センター所長にご出席いただきました。

生協からは 11 生協（内非会員 2 生協）・県連から 28 名が参加し、参加生協の自己紹介を行うなど懇親を深めました。

コープぐんまが職員福島視察・学習バスツアーを実施 4月16日(土)



楢葉町宝鏡寺の本堂前で記念写真

コープぐんま（梅澤義夫理事長）は、4月16日（土）に職員向け企画、福島視察・学習バスツアーを実施し、役職員34名が参加しました。

ツアーにはガイドとして福島から群馬県内に避難を余儀なくされ東京電力に損害賠償を求める裁判原告の丹治杉江さんと、現地では元いわき市高教組の管家新さんが同行し、被災地をバスで巡りながら詳しい説明を聞きました。

昨年9月5日に避難指示が解除された楢葉町では、宝鏡寺（福島第一



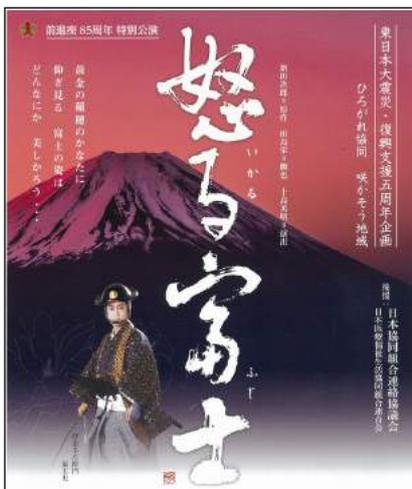
津波により冠水した浪江町立戸請小学校 当時のまま残されている

原発から約18キロ）住職、早川篤雄さんから楢葉町の原発反対運動と被災後の町民の様子が話されました。

梅澤理事長は「原発被害の実態を職員が知る機会を設けたいとこのツアーを企画した」と話していました。参加者からは、「原発事故から6年目でなく、原発事故が始まって6年目の春を迎えたとの丹治さんのお話しが胸に残った」「今日学んだ原発事故の実態を職場の仲間に話していきたい」「一人も住んでいない町の様子を見て衝撃を受けた」「重い一日になるのではと思って参加したが、被災地の様子がわかってよい体験になった」等と感想が寄せられました。



富岡町の帰還困難区域 柵の中は除染作業が手つかずになっている



東日本大震災・復興支援五周年企画 ひろがれ協同 咲かそう地域

群馬中央医療生活協同組合主催 前進座「怒る富士」公演のご案内

群馬中央医療生協では、組合員さんと職員による「怒る富士」上演運動実行委員会を結成し、取り組みの意義や東日本大震災被災地の現状報告、前進座の歴史・理念、上演作品の魅力やみどころについて学習をして上演を成功させようと取り組んでいます。

2016年7月14日(木) 開演 昼の部 13:30~16:30 夜の部 18:30~21:30
会場 ベイシア文化ホール（群馬県民会館）大ホール ※開演 30分前開場
ご観劇料金 5,000円[全席自由席] お問い合わせ 027-265-3531

群馬県生協連 第57回通常総会 開催のご案内

日時 2016年6月20日(月)
午前10時～12時
会場 群馬県勤労福祉センター
第1・第2会議室
群馬県前橋市野中町361番地2
TEL027-263-4111

県連女性協議会 第23回定期総会開催のご案内

日時 2016年6月16日(木)
午前10時～
会場 群馬産業技術センター
多目的ホール
前橋市亀里町884番地1
TEL027-290-3030(代)
※ 総会終了後には恒例のアトラクション
をお楽しみいただきます。

3.11を忘れない みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします 2016年5月5日

～ひとの復興～

「心配なのは次のステップが見えない人たち」

「石巻市には133ヵ所の仮設団地がある。そこを集約するのは至難の技だが、住民が今後の身の振り方を考えられるよう、早く決めてほしい。そう話すのは、仮設住宅と復興公営住宅のコミュニティづくりに取り組む一般社団法人石巻じちれん会長の増田敬さんです。

現在、市内約4千世帯の仮設団地入居者の集約を進めるにあたり市は、様々な事情で復興公営住宅の申込みができない人や経済的に厳しく自立が難しい人々を支援する仕組みをつくろうとしています。

石巻じちれん事務局長の内海徹さんは「復興公営住宅などの完成を待つ人たちは明日が見えているからまだいい。心配なのは経済的な理由で次のステップが見えない人たち」と言います。活動のなかで生活困窮者や健康に問題を抱えた住民に出会うことがあり、そうした場合は見守り続けながら専門機関につなぐようしています。

最初は生活再建めざして一生懸命に動いていても5年経つうちに意欲が薄れてしまい、仮設住宅を出ようという気力が無くなった。そんなケースも見かける

そうです。「狭い仮設住宅では趣味を楽しむ余裕もなく、ただ寝るだけ。本当の生活じゃない」と増田さんは顔を曇らせます。

入居者の減少で自治会役員の担い手がいなくなると、住民同士の交流機会も減ります。石巻じちれんは、集会所の鍵を管理する住民を窓口常にコンタクトを取れるようにしておき、石巻じちれん開催のカラオケ温泉ツアーや観桜会などの交流イベントに参加を呼びかけて家のなかに閉じこもっている人を一人でも多く外に誘い出すようしています。

生活再建の方法がまだ見えない住民は集約による転居、その後の住まい、経済的問題と不安が消えることはありません。石巻じちれんのように親身に寄り添って支える存在が、被災地ではますます重要性を増しています。



石巻じちれんの事務局長の内海徹さん、前列左から会長の増田敬さん、事務局長の内海徹さん、後列左からスタッフの阿部由記さん、熊谷基さん。

県連便り

4/29発表の春の叙勲で、峰岸通県連顧問が旭日双光章(社会福祉功労)を、5/3発表の県総合表彰で、八田直樹県連専務理事が「生活功労」をそれぞれ受賞しました。

峰岸顧問、八田専務ともに県生協連での生協活動をはじめ、行政の審議委員等を歴任されてきた功績に対しての受賞です。

みなさまにご報告するとともに、受賞をお祝いします。

県連活動日程

- 5月 6日 叙勲伝達式(県庁)
- 9日 労福協理事会/県連事務局会議
- 11日 第10回女性協運営委員会
- 12日 第1回組織部会/県消団連幹事会
- 14日 女性協組合員学習交流会
- 17日 県総合表彰 表彰式(県公社ビル)
- 18日 叙勲者拝謁(皇居)
- 19日 第6回理事会/食肉公取協総会
- 23日 第41回前橋市消団連総会
- 24日 2016年度群馬県消団連総会
- 25日 前橋市消費者講座
- 26日 県LPガス協会創立60周年記念式典